

旧街道ウォーク337★古代東海道[27] [古代東海道 2008 その6]「松庵～向原」

活動記録

【日 時】2008 年 9 月 28 日（日）11:00～16:40 晴れ

【コース】松庵（西荻窪駅）→ 荻窪八幡 → 妙正寺池 → 下井草＜昼食＞ → 中村 → 練馬
→ 江古田＜中休＞ → 向原（千川駅）（10km）

【参加者】○大竹亮、磐田江利子、梶川義実、片桐拓朗、加藤栄子、北橋伸一、児山文一、
斎藤健一、清水俊哉、高梨健一、千川明、水谷晴子、山川紀子、山根純一（14 名）
（○は主催者）

【概況説明】

今回は秋も本番になった涼しいす曇り空の下、西荻北（松庵）からスタートしました。北東に向かう道を進み、善福寺川を渡り荻窪八幡へ。ここから先は、しばらく道が消えているため、桃井防災公園の中を突っ切り妙正寺と妙正寺池へ。この先、中瀬の長屋門を横に見ながら、再び現れた北東への道をひたすら進みました。下井草駅付近で昼食の後、中杉通りと交差した先で御獄神社に到達、そのあと中村北にて千川通りへ曲がります。ここからしばらく千川通り（千川上水跡）を進み、江古田駅付近の浅間神社を経て小休止。その先、練馬・板橋・豊島の各区が入り組んだ道を進んで、向原（千川）の鎌倉街道との変則交差点にて終了となりました。

【評価結果】

古代官道らしさについては、全体に直達性は感じられるものの、道筋が途切れている部分があり、評価はやや低くなりました。沿道風景については、神社や屋敷森などの緑が多かったものの、遠景がきかないこともあり、評価がやや低くなりました。古道の史跡については、荻窪八幡や妙正寺を挙げられていたものの、史跡そのものが少なく、やや低い評価となりました。古道の案内表示は少なく、評価が低くなりました。ただし、全体を通じての評価点は 3.25 で、個別の評価がやや低い割には、平均よりやや高い評価でした。これは、古道らしさの残る住宅地の緑豊かな環境が心地よかったためと考えられます。



中瀬の田中家長屋門



中村の石仏・石塔類

【参加者の評価結果】

1 ◆全体を歩いた感想 評価点：3.25 内訳：AABBBBBBC

A：全般的には閑静な住宅街が多く、ゆっくり歩くのにはちょうど良かった。

A：東京山の手住宅地の中に残る史跡と古道をつないで歩くことができた。荻窪八幡、妙正寺、千川上水など自然や歴史に恵まれており、沿道に石仏なども多く、立派な長屋門まであって味わい深い。

B：石仏類が多く残っていて楽しく歩けた。

B：石仏類が多く、季節も良かったことから気持ちよく歩けました。杉並から練馬にかけて大きな敷地の家が緑の木々と共に残っており、うれしく思いました。

B：住宅街の中に忽然と庚申塔が出現するところに旧街道を感じた。

B：早稲田通りを越えてからは直線性や江戸時代の遺構があり、官道らしさを感じられた。

B：都市部であるにもかかわらず、道筋がよく残っていると思った。

C：今回はあまり記憶に残る所が無い中で、鎌倉街道と交差する古代東海道が印象的でした。

2◆特に魅力的だったところ

○荻窪八幡：周辺の屋敷や神社の木立に、ほっとさせられた。

○荻窪八幡：青梅街道沿いにもかかわらず、静寂さがあつた。

○荻窪八幡：青梅街道に沿って広大な境内と鬱蒼とした樹林を誇る古社。

○桃井3丁目：日産自動車跡地の再開発だが、店舗、福祉施設、保育所、集合住宅と防災公園が整備され、路線バスも乗り入れるなど、新しい街の拠点ができている。建物デザインの質も高いが、大木のある住棟間を抜けると原っぱ広場に出る空間構成がすばらしい。

○桃井3丁目：防災公園予定地の原っぱ広場に出た所の建物のベランダが一辺倒ではなく、何種類かにデザインされていて面白く魅力的でした。

○桃井防災公園予定地の原っぱ

○桃井防災公園予定地：ただの原っぱは大変気持ち良かった。

○桃井防災公園予定地：計画的な住宅団地の間を抜けて、何もない広い原っぱに出た時の開放感がすばらしい。防災公園を整備しても、このままであってもらいたいもの。



桃井3丁目の住棟間プロムナード



桃井防災公園予定地の原っぱ

○妙正寺池：古刹の近くに緑豊かな湧水池があるすばらしい住環境。

○妙正寺池：ここが水源となって川になっている。いつ頃からあったのか。

○中瀬の長屋門：立派な長屋門が残っていた。

○中瀬の長屋門：静かな住宅街に立派なものが残って驚いた。

○中瀬の長屋門：東京の住宅地にこのような立派な長屋門が残っていると驚いた。よく手入れされていて感心した。

○下井草駅周辺：私鉄駅前のヒューマンスケールで親しみある商店街。昼食のおいしそうな小さなお店がいくつもあつた。

○白鷺・鷺宮付近：西武新宿線踏切前後の官道跡は、宅地化されたとはいえ畑も残っており、歩くのには快適だった。

○中村付近の石仏群：旧鎌倉街道に沿って大量の石仏群が並んでいる。これほど多く密集しているのは珍しい（ここだけか）。

○中村の良弁塚：道標なども、この場所に集められていた。

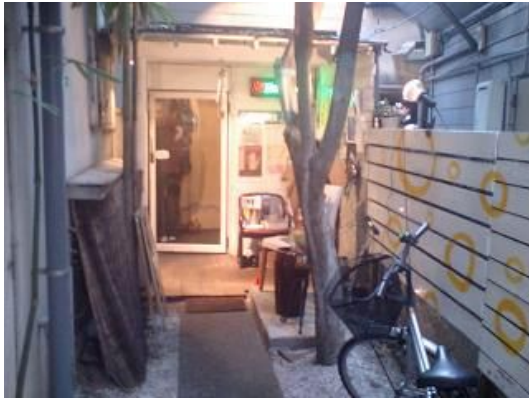
○中村の稲荷神社（中村3-1）：覆いかぶさるように植えられていた木の黄色の実とのマッチングが良かった。

○旧千川上水路：暗渠になってしまったが、広い歩道の桜並木が美しい。

○江古田駅付近：駅北側のごちゃごちゃは楽しい。

○江古田駅周辺：大学が多く学生街となっている。特に日大芸術学部の存在は、この街にカウンターカルチャーの色合いを強く刻印しているようだ。

○江古田のカフェ：狭い通路の奥にある洋館風のカフェ&ギャラリー(Toris Café)は、学生らしい客が多く、サブカルチャーの香りが充満していた。居心地よく、つつい長居してしまった。



学生街・江古田の Toris Café



同・サブカルチャーの雰囲気漂う店内

3◆古代官道らしさ（直線性、短絡性、古代史跡等） 評価点：2.75 内訳：ABBBBBCC

A：直達性を感じる道のりだった。

B：道は直線で、石仏石塔も多く、かつて重要な道であったことが感じられた。

B：おおむね府中（武蔵国府）から市川（下総国府）を目指す最短の道筋にあり、地形に即した尾根道で、かつ直進性もあったが、一部区間で道が失われていたので、やや実感に乏しかった。

B：全体に南北に道筋ができていて、この道だけ北東方向に向いており、古道の名残だと思う。また、平坦地の中でもおおむね尾根道になっており感心した。

B：全体の1/3は古代官道らしさを感じられた。

B：道が細く両側に住宅が建て込んでいるためか、遠くまでの見通しはそれほど良くなかったが、中盤以降は庚申塔も出て来て街道の面影を感じることができた。

C：部分的に感じる所がありました。

C：良く解らない

4◆沿道の魅力的な風景 評価点：2.75 内訳：ABBBBBCC

A：荻窪八幡は、神社自体の森や周辺の屋敷の木立がすばらしい。

B：杉並、練馬区内では大きな木に囲まれた、夏でも涼しいと思われる広い屋敷が点在していた。

B：東京山の手の住宅地であり、緑の多い落ち着いた風景が続いて心地よかった。特に、妙正寺池の森や千川上水の桜並木は美しい。また、江古田の学生街には独特のサブカルチャー的文化と活気が感じられる。

B：千川上水の並木道は、歩道がとても広く歩きやすく感じの良い並木道でした。

B：屋敷森や大木がときどき現れ、昔からの道であろうことが想像できた。平地なので遠くの風景が望めないのが残念。

B：中野区にも畑が残っていた

C：住宅地として魅力的な地域だと感じた。



妙正寺川の水源・妙正寺池



旧千川上水路の桜並木

5◆古道にふさわしい史跡 評価点：2.75 内訳：ABBBBBBCC

- A：荻窪八幡や妙正寺などの立派な古社寺があり、旧家の長屋門も残り、沿道路傍には石仏類がたくさんあった。
- B：神社仏閣や庚申塔が多くあった
- B：街道沿いの多くの神社は、いずれも歴史を感じさせるものであった。
- B：道標や庚申塔が残っていて、古道らしさを感じられた。
- B：庚申塔が良く手入れされているところもあった。
- B：ところどころに青面金剛塔などが残されていた。
- C：神社、お寺がいくつかあったが、古い時代のものは多くはなかった。
- C：少なかったように思えました。

6◆古道や歴史の案内表示 評価点：2.00 内訳：ABBCCCCC

- A：杉並区や練馬区は案内板が多くあった
- B：寺社には案内表示があったが、庚申塔にも道に関連した説明が欲しい。
- B：歴史についての解説板は多かったが、古代東海道についての言及は全くと言っていいほど無かったのが残念。
- C：練馬区内は充実していたように思う。
- C：数箇所あったようです。
- C：練馬区内に鎌倉街道や大山道の案内が少しあったが、それ以外はほとんどなかった。
- C：ほとんど見あたらなかった。



江古田の浅間神社・富士塚



下練馬道の道標と解説板

7◆古道を活用したまちづくりの方向について

○今回の道筋は、そもそも地元でも古代東海道の一部として認識されていないように思われる。部分的には鎌倉街道だったり、千川上水跡だったりするが、ここはひとつ、府中から市川までの「古代東海道ウォーキングコース」（仮称）として、各区が連携して整備してもらいたいものだ。

○石仏類が残っている直線的な道が存在し、交通の便が良いことから、案内表示を充実させることにより、まちづくりに十分活用できると思う。

○古道という認識がないため難しそう。千川上水跡である千川通りは、大きな樹木と広い歩道が活用できそう。

○桃井防災公園の先で昼食を求めて歩いていた時に、「みんなどこまで行くの？」と小さい子供に声を掛けられた。大人数がぞろぞろと住宅街を歩くのは確かに異様であり人によっては迷惑に感じるだろう。たださりげなく案内表示がされ、妙正寺池の川の脇の店や江古田のカフェのようなポイントを巡るルートができると面白いと思う。

○地元住民が自分たちの街の歴史が持つ価値を知り、誇りに思うようなきっかけ作りが大切。単なる新興の住宅地ではなく、古代からの歩みがあったということは、住民にもきっと驚きだろう。

8◆その他、今回の企画や気づいた点などについて

○快適な古道ウォークでした。都市の中に明確な歴史の記憶が残っていると感じました。練馬駅の手前の千川通りで東に曲がるのは不思議に思いましたが、尾根道とのことだったので納得です。（Y. K）

○閑静な住宅街であり、緑も多く気持ちよく歩くことができました。（S. K）

○坂も少なく、また、気候が良かったので大変歩きやすかった。（H. M）

○このコースは初めてでしたが、かつて畑だった所も宅地になっていたようで、（多分代替わりで農地をやめた）今後残るのは区民農園と寺社くらいでしょうか？（T. K）

■主催者より、ひとこと・・・

今回のコースは、東京山の手の住宅地になっており、道筋が残っていない所も多いのですが、しかしながら史跡をつなぐ尾根筋の古道が明瞭に存在し、あるいは古代官道までさかのぼるとの想像をかき立ててくれました。また、屋敷森や社寺、並木道など緑ゆたかな住宅地の風景は、歩くのにとっても心地よいものでした。さらには、時間的に余裕があったので、学生街らしい江古田のカフェで休憩もできました。私自身は、1987年に歩いた時と大きく変わった風景もありました（特に農地の減少）が、同じ風景もたくさんあり、故郷に再会したようでとても懐かしくうれしかったです。参加された皆さん、ありがとうございました。（大竹 亮）



荻窪八幡境内にて



下井草付近の石仏類